

# 大崎市定員適正化計画

平成19年3月

## 1. はじめに

平成18年3月の合併にあたり、合併に伴う効果として、10年間で約400人の職員数削減が示されてまいりました。

その後、短期財政見通しの結果、各種経費の削減を急がなければならないという結論を得たことから、当初の10年間という期間を大幅に前倒しすることとしたものです。

## 2. 職員数の現状

1市6町の合併により、平成18年4月1日現在の職員数(病院事業を除く)は、1,358人となっています。

## 3. 定員適正化の基本的な考え方

### <基本方針>

市民ニーズを把握し、事務事業にプライオリティ(優先順位)を付けて施策を展開するという考え方にに基づき、行政の守備範囲を明確にするとともに、業務をスリム化するための事項に取り組み、職員が行うべき事項を絞り込むことにより、定員の適正化を図ります。

### 事務事業の徹底見直し

必要性、公益性、公平性、戦略性の項目を基準とする行政評価を行い、優先順位を付すなど様々な角度から拡大、縮小、廃止、民間化等の振り分けを推進することで、事務事業の徹底的な見直しを行います。

### 民間委託、民営化等の推進

上の検討結果に基づき、事務事業の民間委託(指定管理者への移行含む)や民営化を進めます。

### 市民協働の推進

地域自治組織やNPO等の市民団体等とのパートナーシップを強化しながら、市民と行政の役割分担を明確にするとともに、職員数減員に対応するべく職員の資質向上を図ります。

### 組織の見直し、事務の合理化

職員数減員に対応するため、効率的で機能的な組織となっているか常に見直しを行うとともに、事務の改善・合理化に取り組みます。

#### 4. 定員適正化目標

##### (1) 計画期間

この計画は、平成 24 年 4 月 1 日時点の大崎市役所の姿を目標とします。

##### (2) 目標とする職員数等

期間中に 400 人を削減することを目標とします。約 30% という他に類を見ない大幅削減で大変困難な事業ですが、市民の皆様のご協力をいただきながら努力してまいります。

H18.4.1 現在職員数	H24.4.1 現在職員数	減員数
1,358 人	958 人	400 人
人数には、病院事業は含んでいません。		

##### (3) 年度別職員数の目標

単位：人

区分	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	H24.4.1
各年度 4.1 現在職員数	1,358	1,310	1,251	1,177	1,112	1,036	958
年度内退職者数	48	59	74	65	76	78	-
年度内採用者数	0	0	0	0	0	0	-
削減数累計	48	107	181	246	322	400	-

この期間中の新規採用は、原則として行わないものとします。